

第20回記念 秋田県特別支援学校総合体育大会

「ネオホッケー競技」実施要項

- 1 日 時 令和3年9月17日(金) 10:00~14:15 開始式 10:00
競技開始 10:20 閉会式 14:05
- 2 会 場 CNAアリーナ「サブアリーナ」
- 3 監督会議 9:40 (体育館内本部テーブル付近)
- 4 競技方法 トーナメント方式。出場チームが3チーム以下の場合は、リーグ戦方式で行う。
一昨年度優勝校・準優勝校はシードとし、違うブロックに入ることとする。シー
ドが組めない場合も優勝校と準優勝校を別ブロックとする。
- 5 競技規則 日本フロアボール連盟「ネオホッケー競技ルール」及び秋田県特別支援学校総合
体育大会申し送り事項による。
- (1) チーム編成
- ① 試合は6人対6人で行う。
 - ② 競技は、中、高等部の部とする。
 - ③ 高等部生に代えて中学部生徒が参加できるものとする。
 - ④ エントリーは、1チームとする。
 - ⑤ ゲーム中には、5名以上のプレイヤーがいなくてはならない。
- (2) 競技時間
- ① 高等部は、前後半7分、ハーフタイム2分で競技を行う。
 - ② 同点の場合は、ペナルティストローク戦で決定する。(ペナルティポイントから、各チーム1名ずつ行い勝敗を決める(サドンデス方式で早く一本入ったチームを勝ちとする)。
- (3) 用具
- スティック、ボールについては、事務局で準備した物を使用する。
(スティックはプラスチック製で黒、白の2色、ボールは白色)
- (4) ゲームの方法
- ① 代表選手によるフェイスオフを行い、競技を開始する。代表選手以外は、ボールより3m以上離れる。フェイスオフを行った選手は、他の選手がボールに触れるまでは、再びボールに触れてはならない。
 - ② ゴール後、後半開始時もフェイスオフを行う。
 - ③ 前後半でチェンジコートを行う。
 - ④ 自由な交代とし、交代して退いた競技者も交代要員として再度出場できる。
 - ⑤ ゴールエリア内に入ることはできない。(対処: ステップ・イン・ディフェンス及びステップ・イン・オフense)
- (5) ゴールの判定
- ボールが、ゴールポスト間を完全に横切ったときに得点とされる。
- (6) 競技の中断と開始
- ① ボールがコート(フェンス)から出たときは、その地点からコート内3m以内の地点で相手側のフリーストロークを行う。
 - ② ボールが、3秒以上膠着状態になったら、その地点でフェイスオフを行う。
 - ③ シューティングライン内での反則でフリーストロークが与えられる場合、次の方法でゲームを開始する。
(攻撃側の反則) 防御側は、反則地点から3m以内でフリーストロークを行う。
(防御側の反則) 攻撃側は、シューティングラインの外からフリーストロークを行う。
 - ④ ゴールラインより後方での反則は、次の方法でゲームを開始する。
(攻撃側の反則) 防御側は、自陣のゴールライン上からフリーストロークを行う。
(防御側の反則) 攻撃側は、敵陣のコーナーポイント上からフリーストロークを行う。
 - ⑤ ペナルティストロークのときはタイマーを止める。ペナルティストローク時は、シュートするプレイヤー以外のメンバーはセンターライン後方に立つ。シュートが失敗したときはペナルティポイントから守備側のフリーストロークによりゲームは再開される。

(7) 主なファウルとその対処

ファウル名	解説	対処	
		FS	P S
キッキング・ザ・ボール	ボールを踏む、蹴る。	○	
ハイ・スティック	スティックのブレード部分を、膝より高くひり上げる。	○	
スライディング・ストローク	手や肘をついたり、寝そべってプレーする。	○	
スローイング・ザ・スティック	スティックを投げる、落とす。	○	
ハッキング・ザ・ボール	空中のボールをはたく、掴む、パスする。	○	
ダブル・ストローク	フェイスオフ、FS、PSをした選手が、続けて二度ボールにふれる。	○	
クラッシング	スティックで相手選手のスティックを打つ、押さえる、持ち上げる。	○	
ステップ・イン・オフense	相手チームのゴールエリア内に入る。	○	
ステップ・イン・ディフェンス	味方チームのゴールエリア内に入る。		○
チャージング	相手選手に対して、押す、つかむ。	○	○
スティック・イン・ゴール	スティックをゴール内に入れる。	○	○
プッシング・ザ・ゴール	ゴールポストを動かす、握る。	○	○
オーバー・ザ・エリア	ゴールエリアを飛びこえる、跨ぐ。	○	○
ファール・スティック	スティック全体が膝より下の位置でプレーする。	○	
オーバー・ザ・ライン	ペナルティストローク時、ボールがゴールラインを通過する前に、選手が前方に移動する。	○	○

※チャージングの程度に応じて、選手に対して警告や退場もあり得る。
 ※「FS」：フリーストローク 「PS」：ペナルティストローク

※ チャージングの程度によっては、選手に対して「注意」をする。同じ選手が1試合中に2回、チャージングのファウルをした際は「退場」とすることもあり得る。
 ※退場したプレーヤーに代わるプレーヤーは、サイドが変わるまでは競技に参加できない。

(8) その他

- ①ユニフォーム(ゼッケン等)は、各チームで用意すること。
- ②6名の外部からの審判をお願いする。
- ③コート外にボールが出た時はタイマーは止めない。

5 会場図

